

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ 3	出席委員数	4 名
日 時	平成 2 1 年 8 月 2 1 日（金） 1 9 時 0 0 分～ 2 1 時 0 0 分		
場 所	北方町役場第 2 会議室		
【協議事項】 欠席者 村瀬委員			
地域福祉について			
次回開催日について			
・ 9 月 26 日（土）午前 10 時から			
ー 主要意見 ー			
・ ドライバーの運転マナーが悪い。学校の側でもスピードを出す。			
学校周辺の道路に <u>標識や路面に緑のカラー化（一目ですぐわかる）</u> など、			
運転手に対し「ゆっくり走ってください」と減速の啓発となるような施策がある			
とよい。			
また、どこに学校があるかわからない。一般に他の学校周辺（岐阜市など）			
には、 <u>学校案内の看板</u> が見受けられるので本町でも設置してはどうか。			
・ 住民への交通安全運動をもっと進める必要がある。運転手のマナー教育。			
障がい者指定の駐車枠に一般の方の車が停められる。			
・ 一本松の旧サークル K 北の一方通行から西へ出る車がある。			
芝原のドラッグユタカ交差点に横断歩道の設置要望を出したが、前後の間			
隔が決まっていて設置できないとのこと。安全対策はないか。			
・ 一般に自転車は車道。歩行者は歩道といわれているが、北方町はどのよう			
に指定されているのか。（歩行者と自転車共有部分はどこが指定されている			
のか。）			
・ バリアフリーや交通安全に対し、誰がチェックしているか。 <u>子供目線でチ</u>			
<u>ェック</u> をしたほうがよいのではないかと。強いては、高齢者の安全につながる。			
・ 町内の交通事故箇所図を作って、皆が認識できる P R を行ったほうがよい。			
<u>通学路地図に事故多発箇所を示してはどうか。</u>			
・ 車椅子でも生活しやすい地域づくりを行えないか。また、通学路をバリア			
フリー化できないか。			
・ 子供、高齢者にとって安全・快適な改善があるとよい町になるのではない			
か。			
・ 命のふれあい講座は、希望者のみならず <u>全員参加を基本</u> としたほうがよい。			
また、命のふれあい講座を自由研究にできないか。			
・ きらりホールで小中学生がもっと参加できるイベントは企画できないか。			
・ 北方中学校に吹奏楽部がない。（糸貫中学校、真正中学校、穂積中学校に			
はある。）劇団も見受けられない。芸術的なものとして発表の企画、機会が			
あってもよいのではないかと。講演会ももっと開催してほしい。			

- ・ きらりホールで自由に発表できる場を設けていただきたい。
ギャラリーこまきの利用PRが必要である。
 - ・ 町のホームページに綺羅利活動、行事予定を載せてはいいのではないか。
 - ・ 障がい者などの外出支援として、NPOの立ち上げがあるとよい。
→行政の受け持つ範囲が難しい。
 - ・ 教育委員会の人員をもっと増やしてほしい。役場ときらり2箇所に窓口があるがどちらで聞けばよいかわからない。連携を密にしていきたい。
-
- ・ きらりスタッフでイベントの企画ができるようにして欲しい。毎年決定されたものをきらりスタッフに伝えられる。マンネリ化しており、改善すべきである。
 - ・ きらりスタッフも高齢の方が多い、20、30代の方がスタッフとして増えないのはやってみたいと思えるものがない。企画などできれば増えるのではなか。
 - ・ きらりホールに文化人を招いて小中学生を対象に講演会を行ってはどうか。
 - ・ 中学2年生が職場体験を遠くの事業所まで行く。近くではないのか。
→近くではあまり受けてもらえないのが実情である。
中学3年生が夏以降に高校見学に行くが、2年生で高校見学や高校体験・スポーツ交流等を行えないか。また、職場体験等夏休み期間中に実施できないか。
交渉から実施にいたるまで、生徒それぞれが行うシステムに見直ししてほしい。学校挙げて検討してほしい。
 - ・ 次回資料及び説明
都市計画道路の現況と概要
 - ・ 次回報告
自転車道・歩行車道の位置づけ
事故多発箇所の図示
 - ・ 次回報告協議事項
都市計画道路について